

議事要旨

会議名称	第2回 杉並区荻窪駅周辺まちづくり検討会
日時	平成28年6月8日(水) 9:30~11:40
場所	杉並区役所 分庁舎 4階B会議室
出席者	【構成員】 まちづくり担当部長、土木担当部長、区民生活部副参事(荻窪地域担当)、産業振興センター次長、都市計画課長、調整担当課長、まちづくり推進課長、都市再生担当課長(都市整備部副参事(荻窪地区まちづくり担当)兼務)、耐震・不燃化担当課長、土木管理課長、土木計画課長、交通対策課長 【外部アドバイザー】 大沢昌玄氏、高見澤邦郎氏、関口太一氏 【事務局】 都市整備部まちづくり推進課都市再生担当
配付資料	資料1: 荻窪駅周辺まちづくり方針の基本的な考え方(案) 資料2: 駅周辺エリアの取組みの具体化に向けて整理すべき事項
会議次第	1. 荻窪駅周辺まちづくり方針の基本的な考え方について 2. 取組みの具体化に向けて整理すべき事項について

<議事概要>

(1) 荻窪駅周辺まちづくり方針の基本的な考え方について

事務局より、荻窪駅周辺まちづくり方針の基本的な考え方について説明後、意見交換を行った。

【主な意見】

○まちづくり方針の対象区域、まちづくりの基本的な視点等について

- ・対象区域は適切であると思うが、区域外との関連性は考慮していく必要がある。
- ・広域的な視点の部分で、荻窪駅を中央線や杉並区の中でどう捉えていくのか、どういった機能を分担していきたいかが重要である。
- ・災害時の駅前滞留者対策等をどう扱うかも重要である。

○対象区域の将来像について

- ・荻窪の強みは昭和、大正から築かれてきた文化性であり、それらを打ち出して、他の駅との差別化を図るべきである。
- ・文化性や良好な住環境といった荻窪独自のライフスタイルがあり、そうした特徴を定着・持続させていく方がよい。
- ・荻窪の特徴を打ち出すため、荻窪のライフスタイルに合わせた何かしらの機能を、駅前で考えていくべきである。例えば、住宅都市という地域の資源を活かしながら、少子高齢化に対応していく取組などが考えられるのではないか。

○対象区域のゾーニングについて

- ・駅周辺エリアについて再検討したほうがよい。
- ・青梅街道による南北分断も考慮する必要がある。

(2) 取組みの具体化に向けて整理すべき事項について

事務局より、取組の具体化に向けて整理すべき事項について説明後、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・交通量調査の結果を踏まえ、まずは人の流れ、次に物流をどう捌くかも検討してはどうか。
- ・鉄道事業者との意見交換は、今後も密に行っていく必要がある。
- ・将来的には都市交通戦略の策定を目指すべきである。

以上